

狭山中平和宣言

2024年6月9日。私たちは今、生きている尊さを感じ、この場所に立っています。

今から79年前、1945年8月6日午前8時15分、ヒロシマに「リトルボーイ」と呼ばれる原爆が落とされました。まちは瞬間に原爆の熱線に飲み込まれ火の海になってしまいました。

その日は、朝から快晴で、たくさんの人が、仕事や学校に行くために「行ってきます」と元気な声で家を後にし、そのまま帰らぬ人になってしまった方が数えきれないほど出てしまいました。本当なら、学校でくだらない話をして笑ったり、家に帰って大切な人とおいしいごはんを食べたりと、日常が流れていたのに。原爆によって明るい未来が熱線と共に抉り取られてしまいました。

思い出の詰まった場所を失った人、愛する人の最期にすら立ち会えなかった人、目の前で息絶えたかけがえのない仲間を失った人、光のない真っ暗闇に残されてしまった生き延びた人々。その苦しみは、経験をしていない私たちの想像を絶するものだと思います。

今も、世界中にいる全員が幸せとは限らない。今この瞬間も戦死してしまうかもしれない戦場に行かされている人やその人をずっと待ち続けている人、戦争で明日を迎えられるかわからない人達があります。領土なんかより命の方が大切です。戦争をすることによって血の涙が降り注ぎ関係のない人まで巻き込まれます。戦争は二度と起こしてはいけません。

今、後世に伝えられる人が減っています。これからの私たちができることは79年前の過去を知り、変えられない過去を身近な人だけでもいいから一人でも多くの人がこの事実と教訓を心に刻み、少しずつ、少しずつ世界がいい方向へ向かうようにすることが、私たちの使命で、平和で明るい未来の創り方だと思います。

現在私たちは学校にも行けて、毎日大切な友人や家族、先生にも会えます。79年前と今を比べるとても幸せに思います。ですが、日が昇り、日が沈んでいくのが普通であること、そして、私たちが未来に向かって歩めるのは、自由と平和を大切に、手と手を取り合い立ち上がった先人の方々がつかみ取った未来とつないできた命があるからです。この未来は紛れもなく今希望に輝く全員に受け継がれたのです。

強くありたい。傷ついても立ち上がり、今を大切に生きたい。

今、ここに生かされていることに感謝し、愛する人たちから生まれてきた命を大切に、その未来を絶対に守り切らないといけません。

私たちは誰もが笑いあい、個性を尊重し、お互いを受け入れ、協力しあえる平和な世界であることを心から願い、もう人を傷つけない、傷つけられないようにすることをここに誓います。

『未来を決めるのは私たちだ』